

いちやりばちよーでー～学びから広がる観光～

沖縄県立八重山高等学校 3年生

島尻 優楓

「いちやりばちよーでー」

この言葉は沖縄の方言です。一度会えば皆兄弟、一期一会のような意味があります。私はこの言葉のように、人と人との繋がりを大切にする沖縄の伝統や文化、人の温かさが好きです。

私は高校生平和ガイドの活動を、ラオスを訪れたことがきっかけで高校一年生の冬に始めました。沖縄戦や私の住む石垣島で起こった戦争について調べたり、体験者の方から話を聞き学んだことを、修学旅行生に伝える取り組みをしています。平和を創るために個人レベルでできることは、人と人が交流し、相手の地域のことを考え思いやる必要があると思っています。沖縄の「いちやりばちよーでー」の言葉のように世界中の人々が人の繋がりを大切にし、出会った相手のことを家族のように思うようになれば世界は平和になると思います。私は、沖縄を世界の平和モデルにしたいです。そうすることで、国内外から訪れる観光客を増やしたいです。

沖縄県は、平和発信強化事業として戦争体験者の多言語訳の取り組みをはじめ様々な事業を行っています。平和祈念館にはこれまで六百五十万人以上の人々が訪れています。「観光産業は平和産業だ」と言われています。私は、相互理解の進展と人々の交流によって、より良いものを沖縄に生み出したいです。

全国から修学旅行生の三分の一が沖縄に訪れています。私は修学旅行生と沖縄に住む地元の高校生と一緒に参加するプログラムを提案します。プログラムを通じて沖縄の観光の発展にも繋がるのではないかと考えます。

このプログラムは、ツアーに参加することで魅力を知ってもらい、同時に沖縄で起こった七十一年前の戦争について考えてもらおうというものです。海や自然、伝統文化に触れる「体験」をメインに楽しんだり、沖縄の食文化を味わうなど、全国から集まった高校生と一緒に過ごします。それだけでなく「平和学習」をします。これまで学校での平和学習は、全校集会で話を聞くことや資料を読むというものでした。私は、沖縄戦のことをほとんど知らない他県の同年代と一緒にフィールドワークし、学ぶという場を作ることでお互いが深く考えるきっかけにしていきたいです。実際に去年の夏、愛知県の高校生四十名とスタディーツアーに参加しました。その中で、戦跡を巡ったり、集団自決があったガマの前で話を聞きました。ある愛知の高校生は、「沖縄は綺麗な場所というイメージが強くて、こんなに悲惨な出来事が起こったなんて知らなかった。また沖縄に来て学びたい」と涙を流しながら話していました。

また、高校二年生の春休みにツアーを主催し、SNSで全国から高校生と大学生を石垣島に集めました。東京と福岡に住む運営メンバーと毎日のようにスカイプで会議し、四か月間準備しました。日程の中でツアー参加者がプレゼンテーションをするイベントや平和祈念館へ行き、私自身がガイドを行いました。このツアーを通して、自分の住む島で他県の人と過ごすということが改めて島の良さに気づき、島のために何ができるのか考えるきっかけになりました。この経験から、沖縄に来る修学旅行生と交流し、学ぶという事業を高校生向けに企画すれば、参加した沖縄の高校生が将来地元の魅力を伝えていきたいと感じるようになるのではと思いました。修学旅行先で友達ができれば大人になった時に、リピーターとして多くの人が旅行に訪れることも増えると考えています。それと同時にSNSを活用したプロジェクトも提案したいです。例えば、お店やマスコットキャラクターを決め、その前で撮った写真を、ハッシュタグをつけてツイッターやインスタグラム、Vineなどに投稿してもらいます。投稿してくれた方には特典・サービスを受けられる取り組みを拡充させ、訪れた人に発信してもらいたいです。新しく人を呼ぶのではなく、今現在来ている修学旅行生を対象にすることで、違った視点から観光産業を発展させたいです。

同年代の他県の人と過ごせる修学旅行のプランがあれば、興味を持ってくれる人もいないのでしょうか。人と人との交流を通して沖縄の美しい海、自然以外のことも知ってもらいたいです。県外の人から、基地についての問題や沖縄の人に対して差別や偏見があるのは事実です。私はこれまで様々な場所に行き、何百人もの高校生や大人の方から話を聞いてきました。基地について、全国の人が沖縄だけの問題ではなく、日本全体の問題として捉えてもらえるように現状を変えたいです。「楽しむ」時間と同時に、考える場になるような時間も作りだし、沖縄に住む若い世代一人一人にも問題意識を持ってもらえる観光プランをつくりたいです。考える人が増えれば、多角的な視点からの地域おこしや観光事業もさらに生まれると考えています。

そして、ツアーを海外の中高生に向けても提案し、国際交流の場とするプログラムも作りたいです。互いの価値観を知り、沖縄の人の温かさを広げていきたいです。

沖縄は、ひとりひとりが変わることでもっと魅力のある島に変われるので、多くのことを学び考え、私自身も沖縄の観光を発展させられるような人材になりたいです。

「沖縄から世界を平和に」

「いちゃりばちよーでー」の言葉のように、人との出会いを大切に、沖縄の人、訪れる人も笑顔になれる島を私は作りたいです。